

令和元年 5 月 17 日 開会

# 令和元年 5 月徳島県議会臨時会議案及び議案説明書



## 目 次

第 1 号	平成30年度徳島県病院事業会計補正予算（第2号）の専決処分の承認について .....	1頁
第 2 号	監査委員の選任について .....	5
補正予算専決処分説明		
1	平成30年度徳島県病院事業会計補正予算（第2号）専決処分説明書 .....	9



第 1 号

平成30年度徳島県病院事業会計補正予算（第2号）の専決処分の承認について

地方自治法第179条第1項の規定により，平成30年度徳島県病院事業会計補正予算（第2号）を次のとおり専決処分したので，同条第3項の規定により報告し，承認を求める。

令和元年5月17日提出

徳島県知事 飯 泉 嘉 門



## 平成30年度徳島県病院事業会計補正予算（第2号）

（総則）

第1条 平成30年度徳島県病院事業会計の補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（資本的収入及び支出）

第2条 平成30年度徳島県病院事業会計予算（以下「予算」という。）第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
収 入			
第1款 資本的収入	7,655,879千円	0千円	7,655,879千円
第1項 企業債	1,213,000千円	974,000千円	2,187,000千円
第4項 補助金	990,293千円	△974,000千円	16,293千円

（企業債）

第3条 予算第5条に定めた企業債を次のとおり補正する。

1 変 更

起 債 の 目 的	限 度 額	
	補 正 前	補 正 後
病院整備事業	1,213,000 <sup>千円</sup>	2,187,000 <sup>千円</sup>

平成31年3月18日専決

徳島県知事 飯 泉 嘉 門





## 第 2 号

### 監査委員の選任について

監査委員に，次の者を選任する。

令和元年 5 月 17 日 提出

徳島県知事 飯 泉 嘉 門

住 所	氏 名	生 年 月 日
徳島県阿南市羽ノ浦町岩脇西園54番地	岩 佐 義 弘	昭 和 46 年 6 月 29 日
徳島県名西郡石井町石井字石井216番地 1	山 西 国 朗	昭 和 60 年 5 月 3 日

#### 提案理由

黒崎章，古川広志の両氏は，平成31年 4 月29日監査委員の任期が満了したので，その後任として岩佐義弘，山西国朗の両氏を選任するため，地方自治法第196条第 1 項の規定により議会の同意を得る必要がある。これが，この案件を提出する理由である。



# 補正予算専決処分説明書



## 平成30年度徳島県病院事業会計補正予算（第2号）専決処分説明書

## 平成30年度徳島県病院事業会計補正予算（第2号）実施計画

資 本 的 収 入 及 び 支 出  
収 入

款	項	目	既 決 予 定 額 (千円)	補 正 予 定 額 (千円)	計 (千円)	備 考
1	資 本 的 収 入		7,655,879	0	7,655,879	
	1	企 業 債	1,213,000	974,000	2,187,000	
		1 企 業 債	1,213,000	974,000	2,187,000	
	4	補 助 金	990,293	△974,000	16,293	
		1 一般会計補助金	990,293	△974,000	16,293	



## 平成30年度徳島県病院事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(単位 千円)

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

## 1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	△553,797
減価償却費	2,088,525
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,758
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	335,826
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15,669
法定福利費引当金の増減額 (△は減少)	1,032
長期前受金戻入額	△1,130,229
受取利息及び受取配当金	△409
支払利息及び企業債取扱諸費	369,769
固定資産除却費	16,013
長期前払消費税償却	△9,612
未収金の増減額 (△は増加)	213,366
未払金の増減額 (△は減少)	83,924
たな卸資産の増減額 (△は増加)	64,264
預り金の増減額 (△は減少)	3,621
その他	△122,135
小計	1,385,585
利息及び配当金の受取額	409
利息及び企業債取扱諸費の支払額	△369,769

業務活動によるキャッシュ・フロー	1,016,225
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,103,475
国庫補助金等による収入	16,293
一般会計からの繰入金による収入	<u>452,586</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,634,596
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
一時借入れによる収入	5,000,000
一時借入金の返済による支出	△5,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	2,228,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△1,155,331
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金の返済による支出	△170,000
その他の他会計借入金の返済による支出	△90,000
リース債務の返済による支出	<u>△21,450</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	791,219
資金増加額	172,848
資金期首残高	<u>2,075,736</u>
資金期末残高	2,248,584



## 平成30年度徳島県病院事業予定貸借対照表

(単位 千円)

(平成31年3月31日)

## 資 産 の 部

## 1 固 定 資 産

## (1) 有 形 固 定 資 産

イ 土 地		3,279,255	
ロ 建 物	31,291,753		
建物減価償却累計額	<u>△8,411,787</u>	22,879,966	
ハ 構 築 物	2,141,972		
構築物減価償却累計額	<u>△208,522</u>	1,933,450	
ニ 器 械 及 び 備 品	13,374,497		
器械及び備品減価償却累計額	<u>△9,406,793</u>	3,967,704	
ホ 車 両	38,879		
車両減価償却累計額	<u>△24,088</u>	14,791	
ヘ リ ー ス 資 産	128,912		
リース資産減価償却累計額	<u>△79,207</u>	49,705	
ト 建 設 仮 勘 定		<u>27,923</u>	
有形固定資産合計			32,152,794

## (2) 無 形 固 定 資 産

イ 電 話 加 入 権		<u>7,194</u>	
無形固定資産合計			7,194

## (3) 投 資 そ の 他 の 資 産

イ 長期前払消費税	1,407,663		
投資その他の資産合計		1,407,663	
固定資産合計			33,567,651
2 流動資産			
(1) 現金預金		2,248,584	
(2) 未収金	3,171,518		
貸倒引当金	<u>△19,142</u>	3,152,376	
(3) 貯蔵品		288,746	
(4) 前払費用		1,495	
(5) 保管有価証券		<u>30,000</u>	
流動資産合計			<u>5,721,201</u>
資産合計			<u>39,288,852</u>

## 負債の部

3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>27,445,059</u>		
企業債合計		27,445,059	
(2) 他会計借入金			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための長期借入金	960,000		
ロ その他の長期借入金	<u>465,000</u>		
他会計借入金合計		1,425,000	

(3) リース債務		35,128	
(4) 引当金			
イ 退職給付引当金	<u>2,683,334</u>		
引当金合計		<u>2,683,334</u>	
固定負債合計			31,588,521
4 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	<u>1,268,136</u>		
企業債合計		1,268,136	
(2) 他会計借入金			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための長期借入金	170,000		
ロ その他の長期借入金	<u>70,000</u>		
他会計借入金合計		240,000	
(3) リース債務		27,106	
(4) 未払金		1,917,195	
(5) 前受金		4,413	
(6) 引当金			
イ 賞与引当金	542,108		
ロ 法定福利費引当金	<u>101,043</u>		
引当金合計		643,151	
(7) 預り有価証券		30,000	
(8) その他流動負債		<u>83,254</u>	

流動負債合計			4,213,255
5 繰延収益			
長期前受金	13,912,276		
収益化累計額	<u>△9,245,443</u>		
繰延収益合計			<u>4,666,833</u>
負債合計			40,468,609
資 本 の 部			
6 資本金			7,418,333
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	15,952		
ロ 寄付附金	10,529		
ハ その他資本剰余金	<u>644,802</u>		
資本剰余金合計		671,283	
(2) 欠損金			
イ 当年度未処理欠損金	<u>9,269,373</u>		
欠損金合計		<u>9,269,373</u>	
剰余金合計			<u>△8,598,090</u>
資本合計			<u>△1,179,757</u>
負債資本合計			<u><u>39,288,852</u></u>

## 注 記

## 1 重要な会計方針に係る事項

地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成している。

## (1) 資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による。

## (2) 固定資産の減価償却の方法

## イ 有形固定資産

減価償却の方法

定額法による。

主な耐用年数

建物 6～47年

構築物 10～30年

器械備品 4～20年

車両 6年

## ロ リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

## (3) 引当金の計上方法

## イ 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。

なお、会計基準変更時の差異3,343,862,921円については、平成26年度から15年にわたり、均等額を費用処理している。

ロ 賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末・勤勉手当の支給及びこれに伴う法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

ハ 貸倒引当金

未収金について回収することが困難であると見込まれる額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として処理している。ただし、資産に係る控除対象外消費税等については、長期前払消費税勘定に計上し、5～15年間で均等償却を行っている。

2 予定貸借対照表関連

企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は15,270,848,000円である。

3 セグメント情報の開示

(1) 報告セグメントの概要

病院事業会計は、徳島県病院事業の設置等に関する条例第2条第2項の規定に基づき、徳島県立中央病院、徳島県立三好病院、徳島県立海部病院を運営しており、3病院を報告セグメントとしている。

なお、各セグメントに配分不能な本局に係る医業収益、医業費用、セグメント資産、セグメント負債等は共通に記載している。

(2) 報告セグメントの営業収益等

当年度（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

	中 央 病 院	三 好 病 院	海 部 病 院	共 通	合 計
医 業 収 益	千円 14,614,198	千円 3,765,099	千円 1,754,964	千円	千円 20,134,261

医業費用	15,259,473	5,100,100	2,347,609	273,701	22,980,883
医業損益	△645,275	△1,335,001	△592,645	△273,701	△2,846,622
経常損益	636,828	△689,786	△242,874	△257,965	△553,797
セグメント資産	21,760,903	8,093,146	7,356,282	2,078,521	39,288,852
セグメント負債	23,282,111	9,022,925	8,040,499	123,074	40,468,609
その他の項目					
他会計繰入金	2,391,268	895,396	500,403	15,223	3,802,290
減価償却費	1,108,609	627,065	350,619	2,232	2,088,525
特別利益					
特別損失					
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	1,297,107	522,584	281,932	1,852	2,103,475

#### 4 減損損失

##### (1) グルーピングの方法

病院事業に使用している固定資産については、3病院ごとにキャッシュ・フローを生成していることから、この3つを資産グループとしている。

##### (2) 減損の兆候について

当年度において、以下の資産グループについて病院事業の業務活動から生ずる損益が継続してマイナスとなる状況であるため、減損の兆候を認識した。

用 途	資 産 の 種 類	所 在 地
三 好 病 院	土地、建物、構築物、器械及び備品	三好市池田町シマ815番地の2
海 部 病 院	土地、建物、構築物、器械及び備品	海部郡牟岐町大字中村字杉谷266番地

(3) 減損損失の認識及び測定について

当年度において、上記資産グループについて、回収可能価額が帳簿価額を上回るため、減損損失を計上していない。

5 リース契約により使用する固定資産

(1) リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

6 その他

(1) 退職給付引当金の目的使用による取崩しについて

当事業年度において、退職手当として473,414千円を支給するため、退職給付引当金473,414千円を使用する。

(2) 賞与引当金及び法定福利費引当金の目的使用による取崩しについて

当事業年度において、職員の期末・勤勉手当及びこれに伴う法定福利費を支給（支出）するため、賞与引当金526,439千円及び法定福利費引当金100,011千円を使用する。





